

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会
No. 4 3 2 0 1 1 . 1 1 . 2 7
発行責任者 柿 本 克 彦
編集責任者 教 宣 部

安否確認は誰のため！？

安否確認の訓練が、11月29日に行われる事が明らかになりました。今年の8月、会社は「災害発生時における社員等安否確認について」ということで、社員に個人の携帯電話のメールアドレスを会社の作った「システム」に発信し登録することから始まっています。この時会社は「災害発生時の場合には早期に被災状況を確認し、会社の事業体制を確保する必要があると共に被災した社員への対応を早急に行っていく必要がある」と言っています。

会社は、第一に営利優先の電車運行が優先するのであって、その次に社員の安否を心配しています。東北大震災の時、津波警報が出ている中、車掌1名減で新幹線を運行させたことでも明らかのように、社員やお客様の命を何一つ考えていないのが会社の真の姿です。このような会社姿勢でJ R 東海会社に「安全」が保たれるのでしょうか！

会社は、私たちに「標準化・声だし」を推進したり、報告だけですむところをあえて強制的に時系列等報告書を書かせています。都合の良いところだけ協力しろ！ではいかなものかと考えます。

会社の真の狙いは！？

今後、会社は今回の訓練を、ステップアップさせながら訓練を実施してくる事が予想されます。訓練を何回も繰り返すことにより、訓練に慣れさせ、違和感さえも取り除いていくことで最終的には、自らの安否を速やかに会社に連絡し、会社のことを一番に考える社員をつくらうとしているのです。従順な社員、物言わぬ社員づくりのひとつの攻撃であると私たちは考えます。

私たちは従順な社員・物言わぬ社員づくりには断固反対です。些細なことでも物言える明るい職場づくりに奮闘していきましょう。

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
仕業検査車両所分会
分会長 柿本 克彦

安否確認の訓練に対しての申し入れ

11月29日に、安否確認の訓練を実施することが明らかになりました。問題も多く、疑問点もあるので申し入れを行いますので時間はありませんがよろしくお願ひします。

記

- 1、 今回の訓練は基本的に自己の時間で報告する内容になっているが、要するに社員に協力をお願いしているということか明らかにすること。
- 2、 アドレスを登録していない社員に対して、報告がない社員の自宅等に電話を入れるとしているが、自宅の電話に確認が取れるまで行うということか。また家族を無用な心配させるものであり止めること。
- 3、 もし、仮に社員から会社に電話を入れた時は、電話の通話料は誰が支払うのか、明らかにすること。
- 4、 今後もこのような訓練を実施するのか。実施するのであれば年何回ぐらいするのか、明らかにすること。
- 5、 アドレスを登録していない社員は、会社のどこに電話で連絡すればよいのか明らかにすること。
- 6、 今後、今回の訓練以上の、例えば自己の時間で職場等への「呼び出し訓練」等を考えているのか明らかにすること。